



人口と世帯
8月1日現在(前月比)

人口 / 49,976(- 11) 男 / 24,720(- 10) 女 / 25,256(- 1) 世帯数 / 17,928(+ 22)



非常持出品は定期的に点検を

災害発生時に一番大切なことは「いのちを守ること」

9月1日は防災の日

慌てず冷静に行動できるように
普段から準備と訓練

非常持出品

「防災の日」や「防災週間」は、過去の大地震の教訓を私たちの日々の生活に生かし、災害に対する認識や正しい防災知識を身に付け、防災意識を高めることを目的として設けられています。皆さんも、この機会に防災について考えてみましょう。

いつ何時襲ってくるのかわからない災害。かけがえのない家族を守るために、日ごろから準備しておかなければならないチェックポイントを紹介します。

ポイント1 非常持出品や備蓄品を準備

非常持出品や備蓄品を準備しておきましょう。また、点検は、1年に1回行い、特に食品や飲料水の保存期間は、確認しておきましょう。

非常備蓄品

災害復旧までの数日間を自足するために最低でも3日分、できれば5日分を用意しましょう。

非常食「乾パン、缶詰、レトルト食品、チョコレートなど」
飲料水「1日1人3リットルを目安」
燃料「卓上コンロ、ライター、ガスボンベなど」
生活用品「毛布、寝袋、使い捨てカイロ」

ポイント2 家庭内で防災会議を

もしものとき、どうすればよいかを事前に家庭内で話し合う機会を持ちましょう。

家族防災会議4大テーマ

非常時の持出品をチェック
非常時に必要と思われるものをあらかじめリュックサックなどにまとめておく。また、定期的に自身のチェックを行い、保存期間等を確認する。
家屋の危険箇所をチェック
家の内外をチェックして、



非常持出品は分けて用意しましょう

危険と思われる個所は、修理や補強する。

安全な空間を確保

家具の配置換えで、安全なスペースが作れるよう工夫する。また、家具の転倒・落下を防ぐ方法を考える。

避難場所や災害時の連絡方法を確認

家族が離ればなれになった場合の連絡方法や災害用伝言ダイヤルの使用方法を確認する。また、避難場所・避難コースを確認する。

災害時は、一般の電話がつながりにくくなるので、携帯電話のメール機能や公衆電話(停電時は硬貨のみ使用可能)を利用しましょう。

また、災害時に稼動するN-TTの災害用伝言ダイヤルは、事前契約などもなく、家族の安否確認や連絡などに活用できます。

ポイント3 地震は必ず起こる!

7月23日には、千葉県北西部を震源としたマグニチュード5.7と推定される地震が発生。本町でも震度4を観測しました。地震は、いつ、どこで起こるか分かりません。地震は必ず起こると常に意識しておくことが大切です。

総務課 消防防災係
☎0303

祝 ついに人口が5万人達成

「5万人目」の町民は清水美玖ちゃん

大網白里町は、昭和29年に大網町、増穂村、白里町が合併し、人口2万5千人からその歴史をスタート。都市化の流れが本町にも押し寄せ、宅地開発など整備が進み、約半世紀の間で人口が急増しました。そしてついに住民基本台帳登録人口が5万人目を迎えました。

8月19日に役場ロビーで5万人目を祝う

8月19日に、念願の5万人(住民基本台帳登録人口)を迎えました。

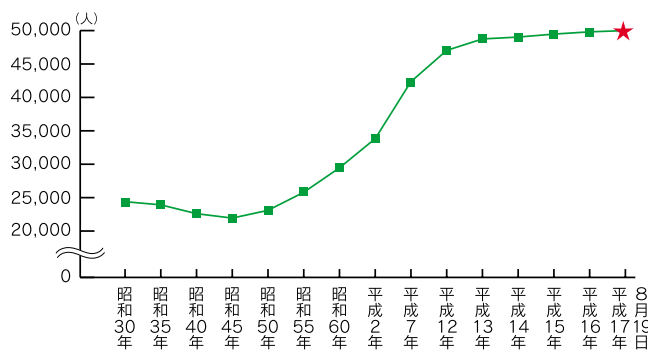
5万人目となったのは、経田に住む清水祐一郎さん・利恵さんの次女として、8月5日に生まれた美玖ちゃん。祐一郎さんが出生届を提出した際、5万人目と聞き、驚きと喜びの様子でした。

重要な数値「5万人」は市制への弾み

市制施行を目指す本町にとっては、5万人は重要な数値。市制の条件は、今年10月に実施される国勢調査で5万人を超えていることが第一関門であり、市制への第一歩を歩むこととなりました。



役場ロビーでくす玉を割って祝福



人口の推移

資料：国勢調査(平成13年以降は住民基本台帳人口：10月1日現在)